

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成18年11月24日(2006.11.24)

【公表番号】特表2002-526409(P2002-526409A)

【公表日】平成14年8月20日(2002.8.20)

【出願番号】特願2000-573361(P2000-573361)

【国際特許分類】

A 6 1 K 31/4422 (2006.01)

A 6 1 P 27/02 (2006.01)

C 0 7 D 211/90 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 31/4422

A 6 1 P 27/02

C 0 7 D 211/90

【手続補正書】

【提出日】平成18年9月27日(2006.9.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

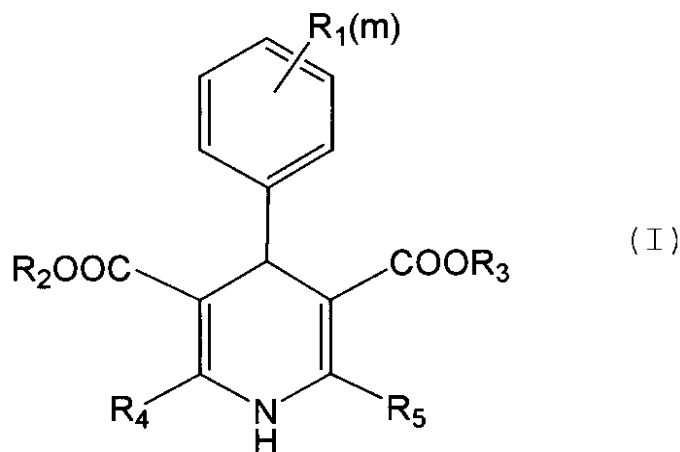
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】 ジヒドロピリジン系カルシウム拮抗剤（但し、ニモジピンを除く）を有効成分とする、光障害性網膜変性疾患処置剤。

【請求項2】 ジヒドロピリジン系カルシウム拮抗剤が下式（I）：

【化1】



【式中、R<sub>1</sub> はハロゲン原子またはニトロ基；

mは1または2；

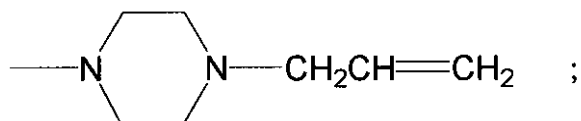
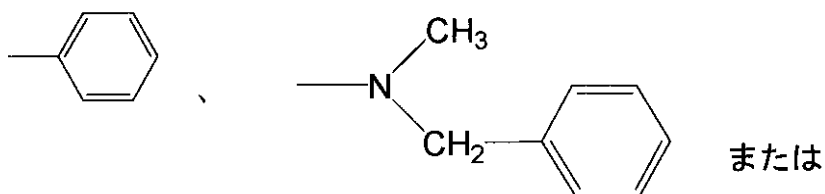
R<sub>2</sub> は低級アルキル基；

R<sub>3</sub> は低級アルキル基または-A-Xで表される基；

Aは炭素数2～6の飽和または不飽和鎖状炭化水素残基；

Xは

【化2】



$R_4$  は低級アルキル基；

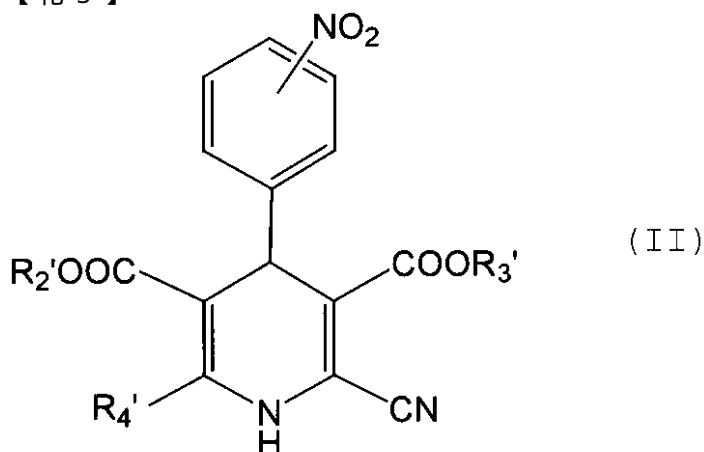
$R_5$  は低級アルキル基、シアノ基またはアミノ低級アルコキシ低級アルキル基]

で示される化合物またはその薬理学上許容される塩である、請求項 1 記載の組成物。

【請求項 3】 化合物が式 (II)：

一般式 (I I)

【化 3】



[ 式中、 $R_2'$ 、 $R_3'$  および  $R_4'$  はそれぞれ低級アルキル基を示す ]

で示される化合物またはその薬理学上許容される塩である、請求項 2 記載の組成物。

【請求項 4】 ジヒドロピリジン系カルシウム拮抗剤がニルバジピンである、請求項 3 記載の組成物。

【請求項 5】 網膜変性が黄斑部の変性である、請求項 1 記載の組成物。

【請求項 6】 網膜変性が加齢性網膜変性である、請求項 1 記載の組成物。

【請求項 7】 網膜変性が加齢性黄斑変性症である、請求項 5 記載の組成物。

【請求項 8】 光障害性網膜変性疾患の処置のための医薬組成物の製造のためのジヒドロピリジン系カルシウム拮抗剤 (但し、ニモジピンを除く) の使用。